施工説明書

INAX

リフォームボード

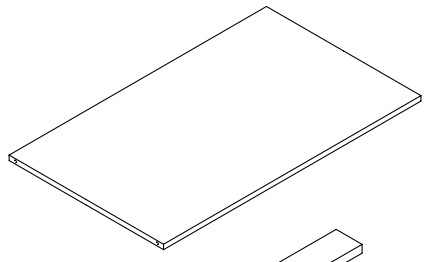
[本体用リフォームボード]
BB-FR-60178、60185、60195、75185、75190、75195、90190、90195、105190、120190、120195
[アッパーキャビネット用リフォームボード]
BB-FR-6004、7504、9004、10504、12004

施工される前に

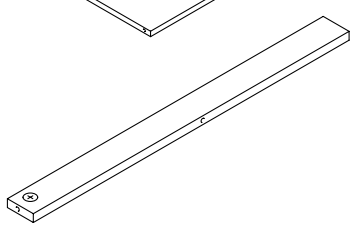
●施工に際しては、必ずこの施工説明書に従い正しく施工してください。
※この施工説明書に記載されていない方法で施工され、それが原因で故障が生じた場合は、商品の保証を致しかねますので十分ご注意ください。
●「保証書（取扱説明書裏表表紙）」は貴店名、取付日を忘れずに記入の上、必ずお客さまにお渡しください。
●施工段階での欠陥工事は、施工店様に対して賠償責任が問われる場合がありますことを十分にご認知いただき、お客さまが安全で快適にご使用できるようご協力ください。
●付属部品の内容と数量が正しいことを確認してください。

■付属部品（本体用BB-FR-60178,60185他）

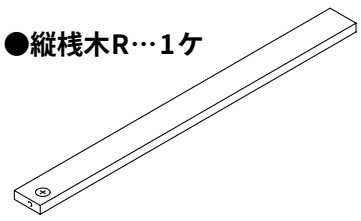
●上部ボード…1ケ



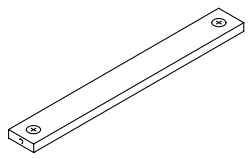
●縦桟木L…1ケ



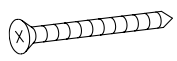
●縦桟木R…1ケ



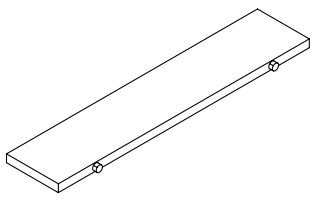
●横桟木1…1ケ



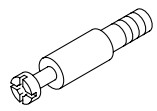
●施工ビス（φ4.5mm×60mm）…8本



●横桟木2…1ケ

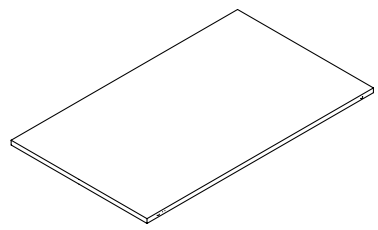


●ねじ止め式シャフト…6本

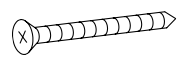


■付属部品（アッパー用 BB-FR-6004,7504,9004,10504,12004の場合）

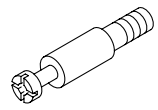
●上部ボード…1ケ



●施工ビス（φ4.5mm×60mm）…4本



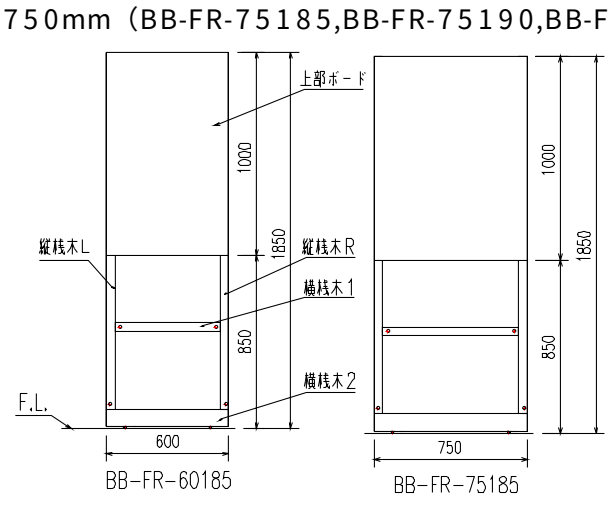
●ねじ止め式シャフト…2本



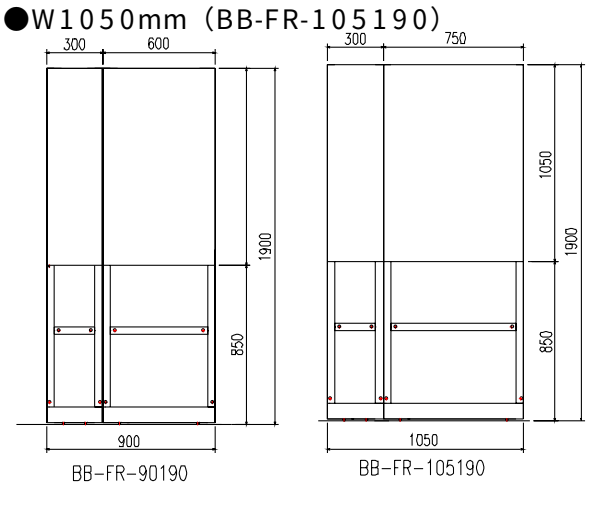
■寸法図

（下図は組み合わせの事例です。）

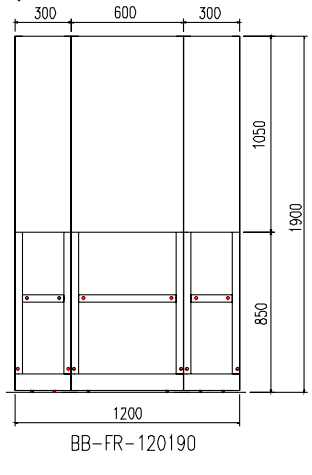
1.化粧台本体用リフォームボード取付け事例
●W600mm（BB-FR-60178,BB-FR-60185,BB-FR-195）
●W750mm（BB-FR-75185,BB-FR-75190,BB-FR-75195）



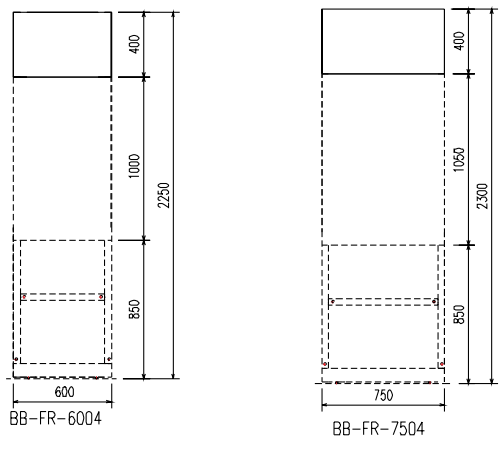
●W900mm（BB-FR-90190,BB-FR-90195）
●W1050mm（BB-FR-105190）



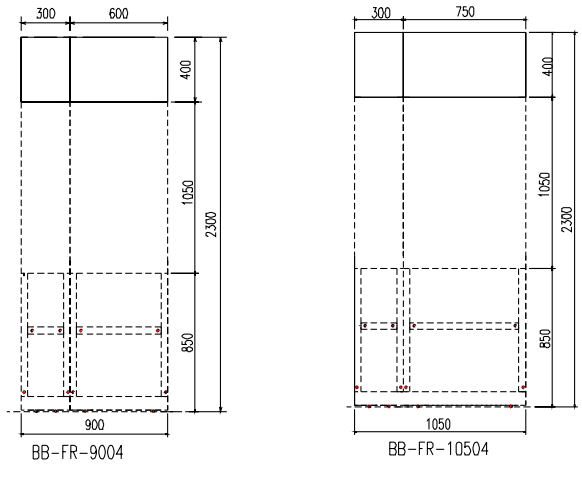
●W1200mm（BB-FR-12190,BB-FR-120195）



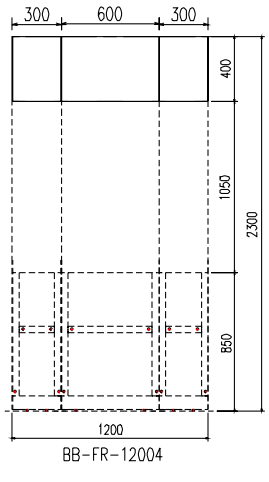
2.アッパーキャビネット用リフォームボード取付け事例
●W600mm（BB-FR-6004）
●W750mm（BB-FR-7504）



●W900mm（BB-FR-9004）
●W1050mm（BB-FR-10504）



●W1200mm（BB-FR-12004）



株式会社INAX
お客さま相談センター　ダイアルイン　☎0562-31-0792
平日「9：00～19：00」対応　土日・祝日「10：00～18：00」対応（年末年始・夏期休暇は除く）

安全のために必ずお守りください

●ここでは施工に際して守らないと人身事故や、家財の損害に結びつく注意事項を挙げています。
施工前にこの項目を良くお読みいただき、正しく施工してください。

用語および記号の説明

警告 ・・・・・「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」

注意 ・・・・・「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

⚠ ・・・・・「注意しなさい！」（上記の『警告』、『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）

⃠ ・・・・・「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）

・・・・・「分解してはいけません！」

・・・・・「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

⚠ 警告

●修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
※ケガや故障が生じる恐れがあります。

●ストーブやヒーターなど熱を発生するものの近くに設置しないでください。
※変色や変形、火災をおこす恐れがあります。

⚠ 注意

●この説明書に記載されている以外の壁仕様（ALC壁等）の場合はリフォームボードの取付けをしないでください。
※リフォームボードの取付強度が保てず落下する恐れがあります。必ず壁の施工のやり直しを行ってください。

お願い

●浴室などの高温多湿場所へは、取り付けないでください。
※木部が水を含んで腐る恐れがあります。

●不陸が5mm／2mを越える場合は施工しないでください。
※不陸があるまま施工するとボードがひずむ場合があります。

●酸性、アルカリ性および塩素系の洗剤類、ベンジン、シンナー、ラッカー、アルコール等の溶剤や油類を使用してふかないでください。
※変色や変形の恐れがあります。（溶剤がつきますと後が残ることがあります。）

●直射日光があたる場合は必ずカーテンなどでさえぎってください。またスポット照明や殺菌灯を直接当てないでください。
※変色や変形の原因となります。

施工前の確認

1. 壁面工事の確認

〔壁材、下地材の確認〕

●リフォームボードの取付け可能な壁面は下図に示す。
※乾式壁2種類の壁面のみです。

〔補強木、仕上げ材の厚みの確認〕

●リフォームボードの取付けには、壁裏に間柱、胴縁、補強木のいずれかが500mm以下のピッチで入っていることを確認してください。直接、壁の仕上げ材にボードの取付けはしないでください。

●間柱、胴縁、補強木が木製であることを確認してください。
※以下の構造体には取付けできません。
・軽量鉄骨構造・コンクリート造・木造土壁
・鉄骨造・ALC（軽量気泡コンクリート）・木ずり下地

●取付け部材として付属の木ねじを使用してください。

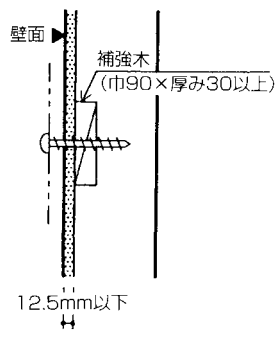
●補強木手前の仕上げ材は取付けねじを補強木に届かせるため必ずトータルの厚みで9.5mm以上12.5mm以下のものにしてください。12.5mmを越える場合は、越えた分だけ長い木ねじを別途用意してください。

⚠ 注意

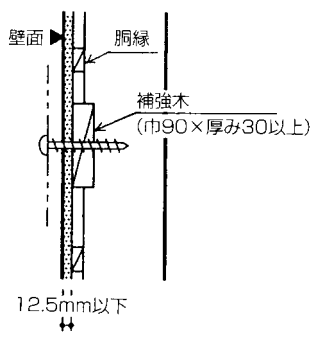
この説明書に記載されている以外の壁仕様（ALC壁等）にはリフォームボードの取付けをしないでください。
※キャビネットの取付強度が保てず、落下する恐れがあります。必ず壁の施工のやり直しを行ってください。

乾式壁

●ボード類直張り



●ボード類胴縁取付け



2. 床面の確認

●設置する床は水平で著しい凹凸や不陸がないことを確認してください。

●床面は強固でぐらつき、たわみが生じないことを確認してください。
※リフォームボードがぐらついたり、取付精度（収まり）が悪くなる恐れがあります。

お願い

浴室内などの高温多湿な場所や水が浸る可能性がある床面には設置しないでください。
※木部が水を含んで腐る恐れがあります。

〔壁の不陸について〕

●リフォームボード取付壁面の不陸は5mm／2m以下であることを確認してください。
（リフォームボードを壁に当て、壁とのすき間が5mm以下であることを確認してください。）

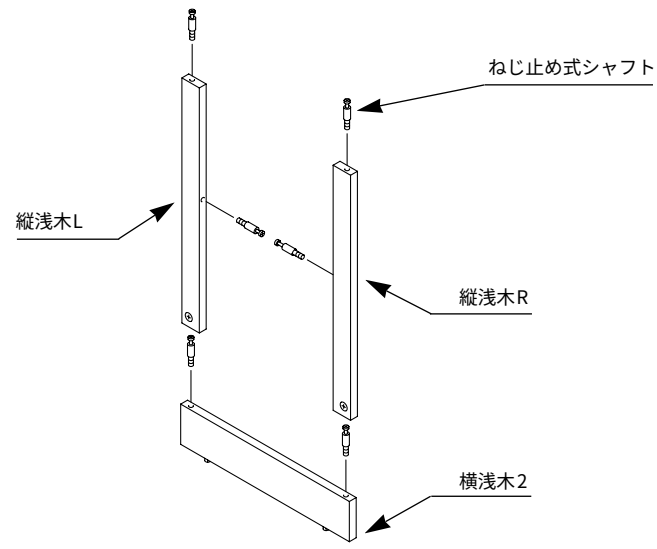
施工方法

■リフォームボードの組立方法

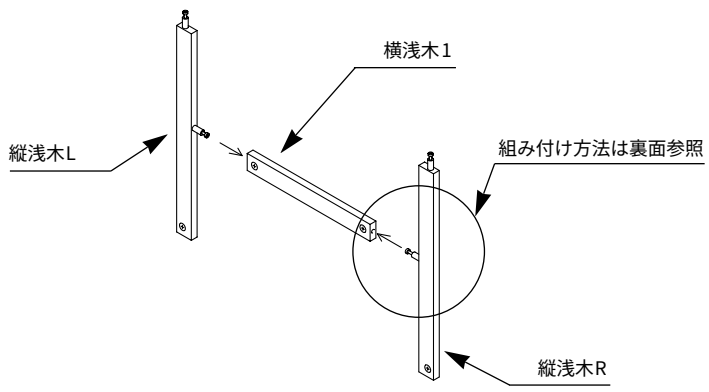
〔W600、750用リフォームボードの組立方法

（BB-FR-60178、60185、60195、75185、75190、75195）〕

（1）縦桟木L、R及び横桟木2の穴加工部にねじ止め式シャフトを取り付けてください。
※プラスドライバーでねじ止め式シャフトが垂直になるように取り付けてください。



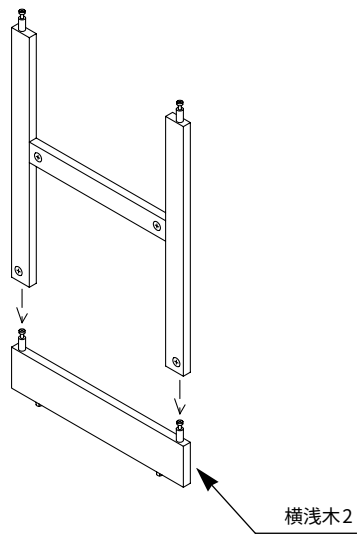
（2）縦桟木L、Rと横桟木1をねじ止め式シャフトに合わせて組み付けてください。



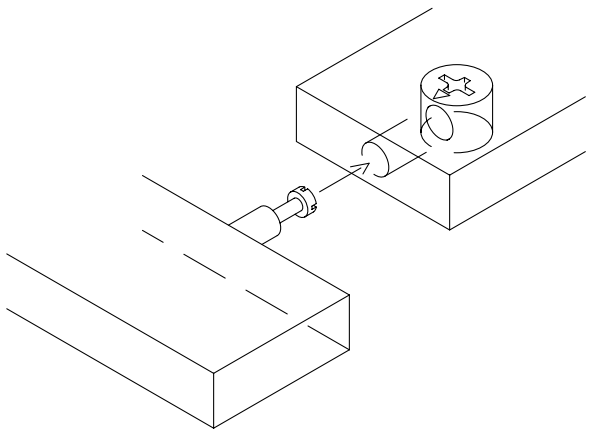
⚠ 注意

リフォームボードを設置した際、横桟木1が給排水管と干渉する場合はφ5の穴を縦桟L、Rの側面にあけ、横桟木1が給排水管を避けられるように組み付けてください。

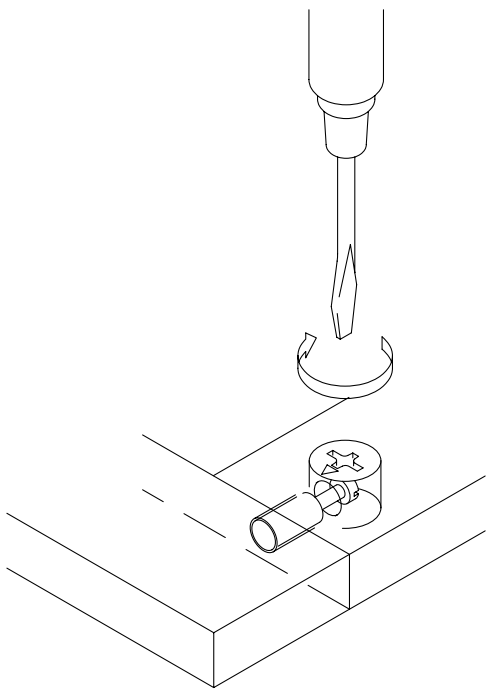
（3）その後、図のように横浅木2をねじ止め式シャフトに合わせて組み付けてください。



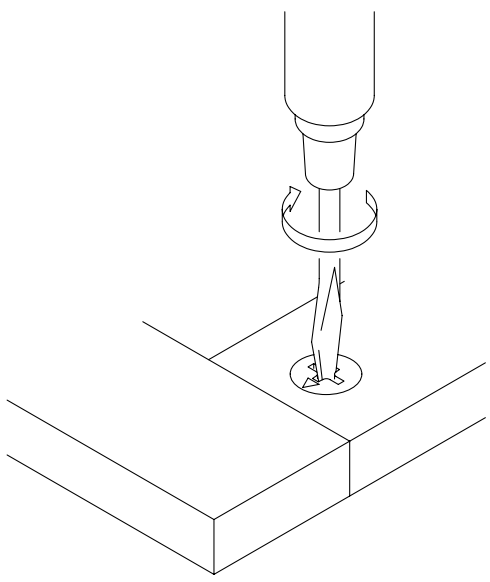
ねじ止め式シャフトの組み付け方法



①合わせる板どうしを、水平に保ち、シャフト穴にねじ止め式シャフトを差し込んでください。
②板どうしを水平に固定しながら、マイナスドラ

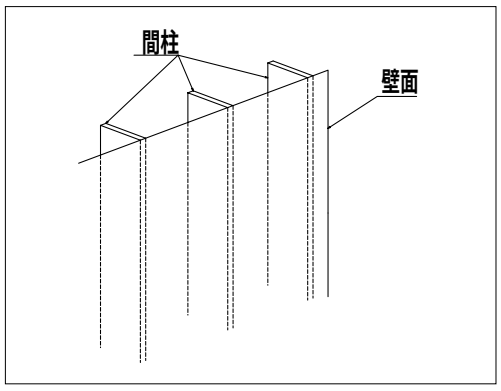


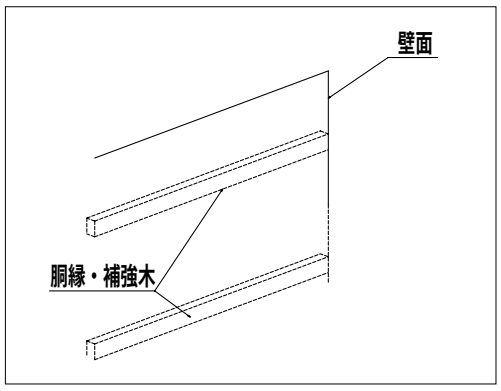
イバーまたはプラスドライバーで時計回りに手締めしてください。
③時計回りに固くなるまで締め付けて固定された



か確認してください。

（4）市販されているプッシュ式針、または壁裏センサー等を用いて間柱、胴縁、補強木の位置を確認してください。





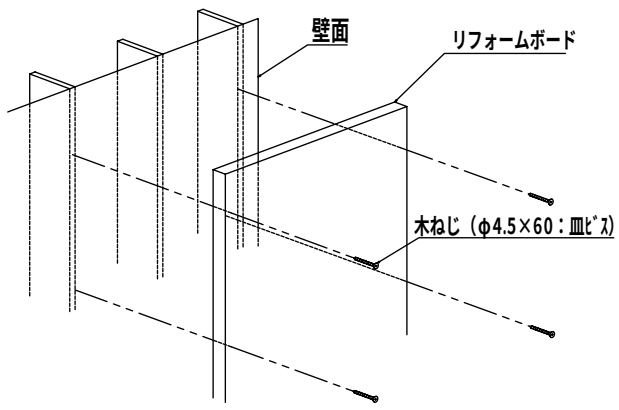
⚠ 注意

必ず間柱、胴縁、補強木のいずれかの位置を確認してください。
※商品の取付強度が不十分になり、脱落してケガをする恐れがあります。

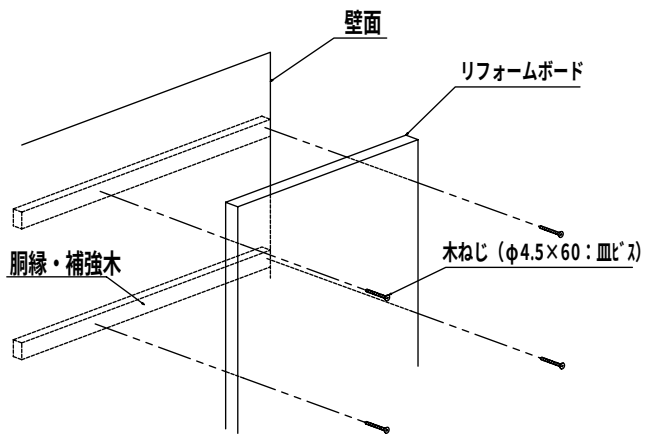
（5）ビス固定位置を下図の施工パターンより、施工パターンA、施工パターンBどちらになるのか確認してください。

施工パターン表

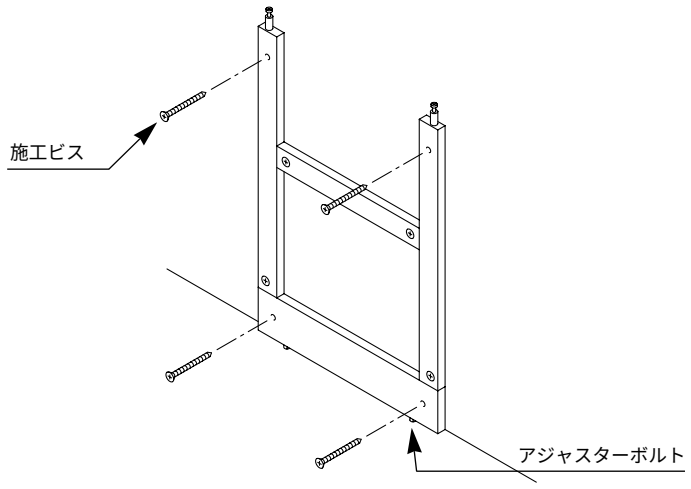
施工パターンA（間柱の場合）



施工パターンB（胴縁、補強木の場合）



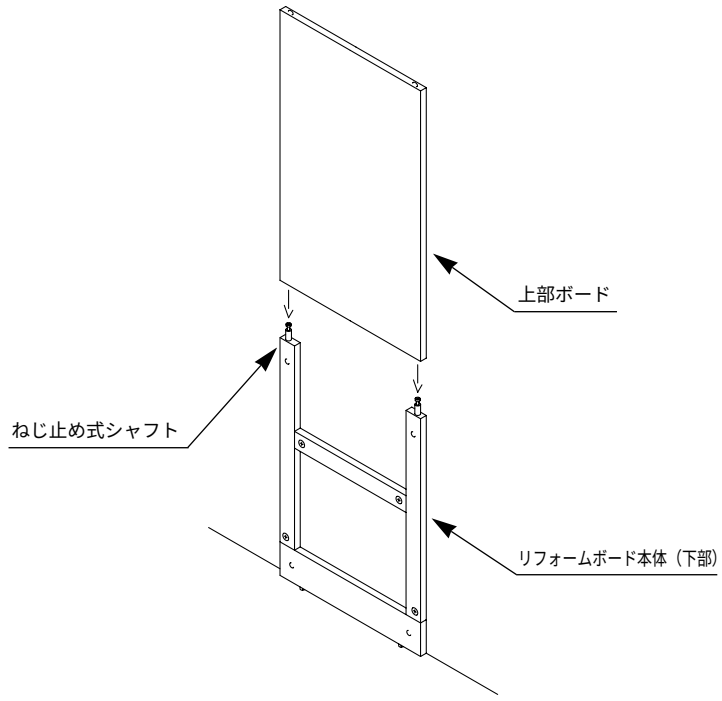
（6）リフォームボード本体（下部）を床面に設置し、水準器を用いてアジャスターボルトで調節し、水平を確認してください。その後リフォームボード本体（下部）を左右2ヶ所ずつ施工ビスにて壁裏の補強木（間柱、胴縁）のある位置に固定してください。



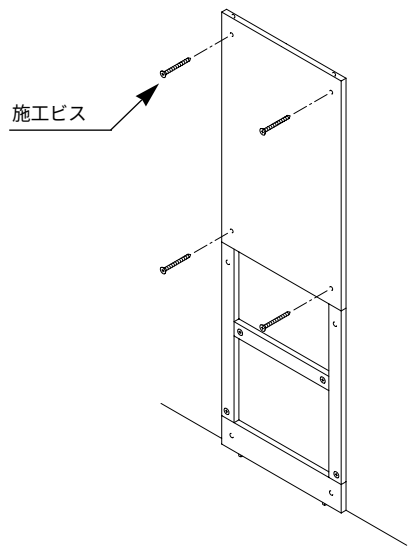
お願い

下穴をφ2mmのドリルであけてください。その際、ねじ止め式シャフトに当たらないよう注意してください。
洗面器が陶器製の場合はビス固定位置をリフォームボードの外端から10mm以上離して固定してください。

（7）上部ボードをリフォームボード本体（下部）のねじ止め式シャフトに合わせて組み付けてください。



（8）上部ボードの左右2ヶ所ずつ施工ビスにて壁裏の補強木（間柱、胴縁）のある位置に固定してください。



お願い

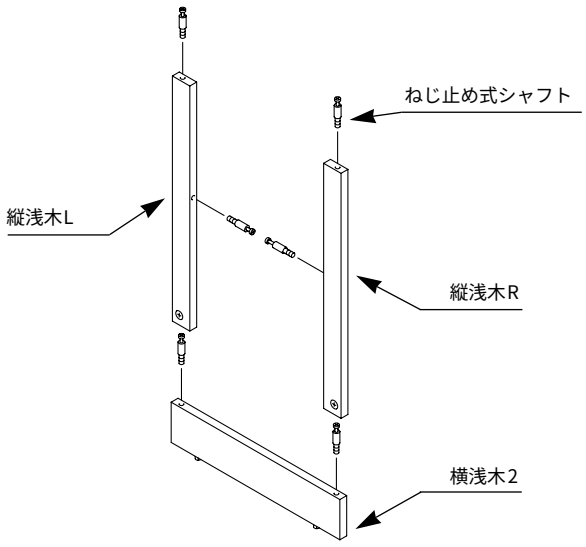
下穴をφ2mmのドリルであけてください。その際、ねじ止め式シャフトに当たらないよう注意してください。
洗面器が陶器製の場合はビス固定位置をリフォームボードの外端から10mm以上離して固定してください。

ワンポイント

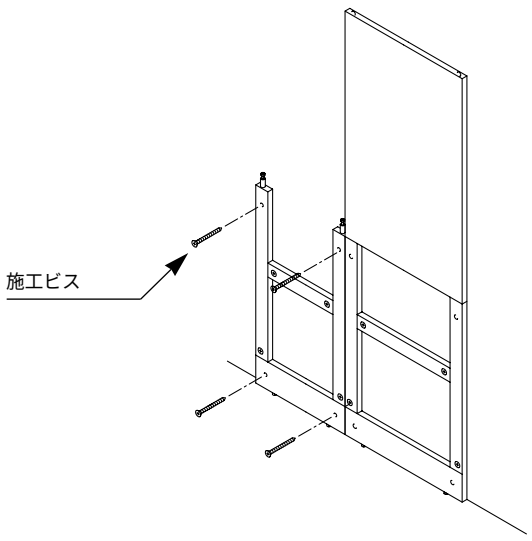
●取付け壁面に巾木がある場合は、横桟2を組付けずに巾木の上にリフォームボードを取り付けることもできます。
その際にも必ず施工ビスは、壁の間柱、胴縁、補強木部分に固定してください。

〔W900、1050用リフォームボードの組立方法（BB-FR-90190、90195、105190、120190、120195)〕

（1）W600、750用リフォームボードの組立方法（1）（2）と同様に縦桟L、R及び横桟2の穴加工部にねじ止め式シャフトを取り付けてください。
その後、それぞれを組み立ててください。
※プラスドライバーでねじ止め式シャフトが垂直になるように取り付けてください。



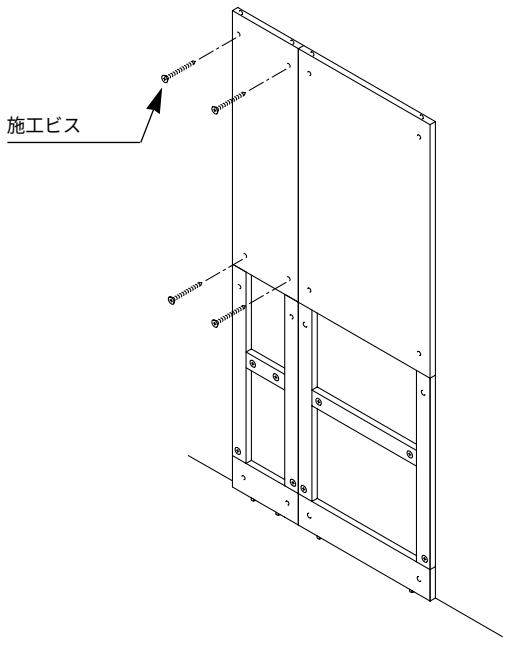
（2）壁固定されたリフォームボード本体の横にすき間の無いよう取り付け、リフォームボード本体（下部）を左右2ヶ所ずつ施工ビスにて壁裏の補強木（間柱、胴縁）のある位置に固定してください。



お願い

下穴をφ2mmのドリルであけてください。その際、ねじ止め式シャフトに当たらないよう注意してください。
洗面器が陶器製の場合はビス固定位置をリフォームボードの外端から10mm以上離して固定してください。

（3）上部ボードの左右2ヶ所ずつ施工ビスにて壁裏の補強木（間柱、胴縁）のある位置に固定してください。



お願い

下穴をφ2mmのドリルであけてください。その際、ねじ止め式シャフトに当たらないよう注意してください。
洗面器が陶器製の場合はビス固定位置をリフォームボードの外端から10mm以上離して固定してください。

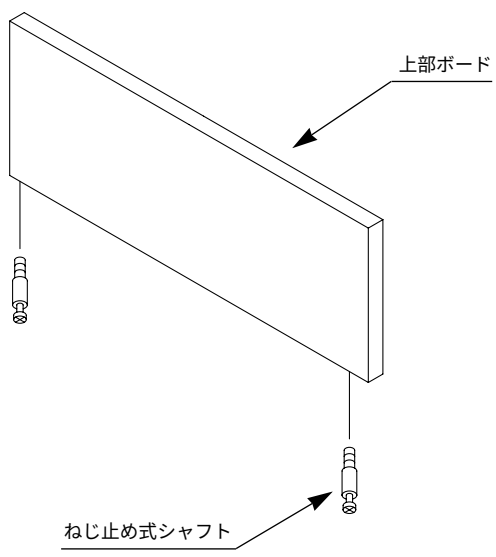
⚠ 注意

必ず間柱、胴縁、補強木のいずれかの位置を確認してください。
※商品の取付強度が不十分になり、脱落してケガをする恐れがあります。

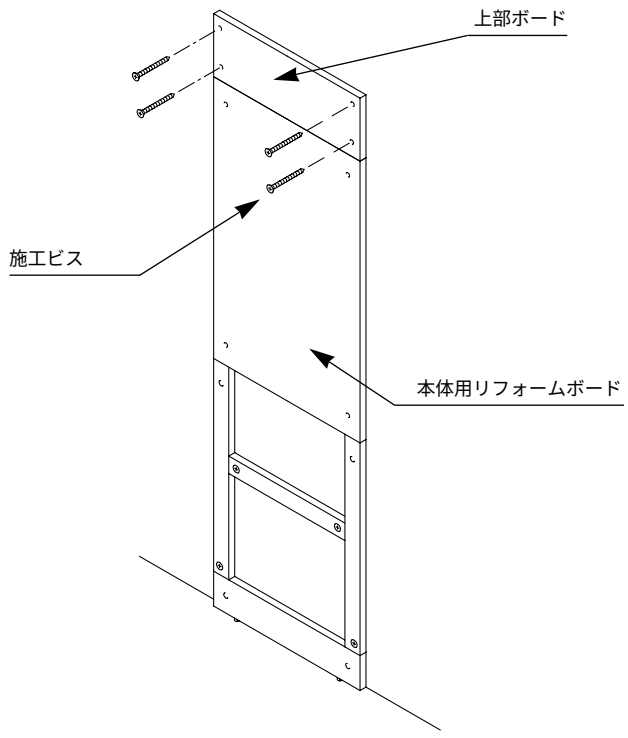
※W1200用リフォームボード（BB-FR-12004）は本体用リフォームボードの寸法図、施工方法を参考にして組み立ててください。その後、二つのすきまの無いよう壁に固定してください。

〔アッパーキャビネット用リフォームボードを設置する場合（BB-FR-6004、7504)〕

（1）上部ボードの下部のねじ止め式シャフト用の穴にねじ止め式シャフトを取り付けてください。
※プラスドライバーでねじ止め式シャフトが垂直になるように取り付けてください。



（2）上部ボードを本体用リフォームボードにすき間の無いように取り付け、両側から50mm以内で左右2ヶ所ずつ施工ビスにて壁裏の補強木（間柱、胴縁）のある位置に固定してください。



⚠ 注意

必ず間柱、胴縁、補強木のいずれかの位置を確認してください。
※商品の取付強度が不十分になり、脱落してケガをする恐れがあります。

※W900、1050、1200（BB-FR-9004、10504、12004）アッパーキャビネット用リフォームボードは、化粧台の間口に合わせて、各々対応するアッパーキャビネット用リフォームボードを同様に組み立てて、壁固定してください。

施工後の確認

■リフォームボード本体の確認

（1）リフォームボードのねじ止め式シャフト、施工ビスが十分に締まって、ゆるみがないことを確認します。

（2）リフォームボード自体にガタツキ、壁とキャビネットとのすき間がないことを確認します。